

2022年3月期 第2四半期決算について

1. 業績概要（2021年4月1日～2021年9月30日）

当第2四半期累計期間の事業環境は、公共投資が底堅く推移したものの、厳しい受注競争や人手不足に加え、コロナ禍の影響により、民間設備投資の縮小や先送りが懸念される状況にありました。

こうした中、当社グループは、中期経営計画 2024〔2021～2024年度〕に基づき、中国地域の基盤強化や都市圏の事業拡大、業務改革の推進等の諸施策を進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

売上高は、一部大型工事の進捗の遅れや屋内電気工事の減少などにより、前年同期に比べ減収となりました。

営業利益は、原価低減に努めたものの、売上高の減少に伴う売上総利益の減少などにより、前年同期に比べ減益、また経常利益は、営業利益の減少などにより前年同期に比べ減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少に加え株式評価損を計上したことなどにより、前年同期を下回りました。

(1) 連結業績

(単位：百万円…未満切捨)

区 分	前年同期	当第2四半期	増減額	増減率 (%)
売 上 高	82,082	77,157	△4,924	△6.0
営 業 利 益	3,269	2,323	△946	△28.9
経 常 利 益	4,467	3,315	△1,151	△25.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,957	1,648	△1,309	△44.3

(2) 個別業績

(単位：百万円…未満切捨)

区 分	前年同期	当第2四半期	増減額	増減率 (%)
売 上 高	65,538	61,535	△4,003	△6.1
営 業 利 益	3,013	2,249	△763	△25.3
経 常 利 益	4,202	3,465	△736	△17.5
四 半 期 純 利 益	3,030	2,059	△971	△32.0

2. 事業の状況 (2021年4月1日～2021年9月30日)

個別の部門別、得意先別の売上高は下表のとおりです。

(1) 部門別 売上高 (個別)

(単位：百万円…未満切捨)

区 分	前年同期	当第2四半期	増減額	増減率 (%)
屋内電気工事	32,144	28,220	△3,923	△12.2
空調管工事	13,613	11,148	△2,465	△18.1
情報通信工事	3,349	4,047	697	20.8
配電線工事	13,206	14,420	1,213	9.2
送変電地中線工事※	3,224	3,698	473	14.7
合 計	65,538	61,535	△4,003	△6.1

※当期より「送変電工事」を「送変電地中線工事」に名称変更しております。

また、「配電線工事」に含めていた地中線関連工事を「送変電地中線工事」に含めております。そのため、前年同期「配電線工事」に含めていた地中線関連工事を「送変電地中線工事」に組替えて表示しております。

(2) 得意先別 売上高 (個別)

(単位：百万円…未満切捨)

区 分	前年同期	当第2四半期	増減額	増減率 (%)
中国電力グループ※	16,720	18,101	1,380	8.3
一般得意先	48,817	43,433	△5,384	△11.0
合 計	65,538	61,535	△4,003	△6.1

※中国電力グループ：中国電力株式会社、中国電力ネットワーク株式会社

3. 通期の業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

今後の事業環境は、コロナ禍の影響に加え、資源の高騰や製造業における部品の調達難の影響など不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、中国地域の基盤強化、都市圏の事業拡大に引き続き取り組み、受注の拡大・施工体制を強化してまいります。また、施工の効率化、コスト低減、DXによる生産性向上に加え、カーボンニュートラルに向けて自社の脱炭素化とともに、自家消費型太陽光PPA事業などお客様への脱炭素化支援事業を推進してまいります。

こうした取り組みにより、通期の業績予想は2021年7月30日の公表値から変更はありません。

(1) 業績予想 (連結)

(単位：百万円…未満切捨)

区 分	前年度	当年度予想	増減額	増減率 (%)
売 上 高	184,482	189,000	4,517	2.4
営 業 利 益	9,482	9,700	217	2.3
経 常 利 益	11,899	11,700	△199	△1.7
親会社株主に帰属する当期純利益	8,119	6,800	△1,319	△16.3

(2) 業績予想 (個別)

(単位：百万円…未満切捨)

区 分	前年度	当年度予想	増減額	増減率 (%)
売 上 高	148,443	150,000	1,556	1.0
営 業 利 益	8,131	8,600	468	5.8
経 常 利 益	10,538	10,600	61	0.6
当 期 純 利 益	7,816	6,700	△1,116	△14.3

(3) 部門別 売上高予想 (個別)

(単位：百万円…未満切捨)

区 分	前年度	当年度予想	増減額
屋 内 電 気 工 事	72,360	69,200	△3,160
空 調 管 工 事	27,393	31,300	3,906
情 報 通 信 工 事	11,017	12,400	1,382
配 電 線 工 事	29,442	29,000	△442
送 変 電 地 中 線 工 事	8,229	8,100	△129
合 計	148,443	150,000	1,556

4. 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

利益配分につきましては、次の「資本政策の基本的な方針」に基づき行うこととしております。

(1) 資本政策の基本的な方針

当社は、通常の運転資金と突発的なリスクへの対応を考慮したうえで、持続的な成長のための投資に内部資金を活用するとともに、業績や経営環境等を総合的に勘案し、株主還元を充実していくことにより、中長期的な企業価値の向上を目指す。

① 持続的な成長のための投資

事業の拡大、人材育成・研究開発強化等、将来の成長に繋がる投資に内部資金を有効活用する。

② 株主還元の充実

業績等を踏まえつつ、持続的・安定的な配当を行う。

また、経営環境等を総合的に勘案したうえで、必要に応じて自己株式取得を実施する。

(2) 当期の配当

当社は、上記方針に基づき、持続的・安定的な配当を行うことを重視し、DOE（連結株主資本配当率）2.7%を目処に配当を行う配当方針としております。

これにより、当期の年間配当金は前期と同額の1株当たり104円を予想しており、半額相当の52円を中間配当金額とします。

	1株当たり配当金		
	中間(第2四半期末)	期 末(予想)	年 間(予想)
2022年3月期	52円	52円	104円

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 中電工

業務本部 総務部 広報担当

TEL 082-291-9730